

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児工業高等学校 運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月10日(木)
- 3 開催場所 可児工業高校 同窓会館
- 4 参加者
委 員 大杉 守平 可児市中恵土自治連合会長
伊藤 由香里 元PTA役員
塚田 美奈子 元PTA役員
各務 眞弓 可児市多文化共生センター事務局長
吉森 豊 PTA役員

学 校 側 中西 竜也 校長
鎌田 知子 事務長
庄司 幸宏 教頭
熊崎 俊介 教務主任
三輪 武 生徒指導主事
林 貴康 進路指導主事
安藤 達矢 工業部長

5 会議の概要

(1) 可児工祭を参観しての感想

- 意見1 各出展に様々な工夫がされており、すばらしかった。生徒各自が授業で学んだことを生かした魅力ある作品が展示されていた。
- 意見2 体験的な出し物が多く内容が充実していた。全体的に生徒たちの真面目さが感じられた。今後、保護者や地域の方に公開し本校の良さを広く知ってもらえるとよい。
- 意見3 工業高校ならではの特色ある取り組みが多く見られた。参加型の出し物では、参加人数を制限するために、整理券を配布したり参加者を決めるためのゲームを取り入れたりするなど工夫が見られた。生徒たちは、このコロナ禍において柔軟に対応する力を持っている。

意見4 コロナ禍において、規模を縮小しつつも可児工祭が実施できたことは、生徒たちにとって貴重な経験になったのではないか。木製のスマホスピーカーなど体験コーナーで制作される実用的な作品は、地域の方などに販売していいとよい。

(2) 本校に対する意見・提言

- 意見1 ヘルメットの着用が義務化された。生徒の安全のため、ヘルメット着用の推進に努めてほしい。新制服には反射材が縫製されるとのことであるが、夜間の下校時には反射板や蓄光板を装備して、より安全性を高めてほしい。
- 意見2 オープンキャンパスや高校説明会といった機会だけでなく、新聞やケーブルTVなど地元メディアを積極的に活用することにより本校の行事や課題発表の成果などをアピールできるとよい。学校紹介のDVDを作成し中学校などへ配布してもよい。
- 意見3 外国籍でも、ものづくりに興味がある子どもがいる。学校に通訳ができる方がいると生徒は安心して工業高校を選ぶことができるかもしれない。
- 意見4 専門的な学習の魅力や、就職に有利であるといった特徴を広報していいと良い。3年後の目的を明確にし、ものづくりを通じた人材育成を計画的に進めてはどうか。ものづくりについては、高校生の発想を大切にしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・委員からは可児工祭での生徒の様子から、生徒の真面目さ、主体性、工業高校ならではの魅力などについて貴重な意見を得た。本校の良さや強みを生かした活力ある学校にしていきたい。
- ・ヘルメット着用の努力義務化など交通安全に関する貴重な意見を得た。今年度は、重大事故はないものの昨年度と比較して登下校における交通事故件数が増加傾向にある。日が短くなるにつれ下校時における交通事故の危険性も高まることから、生徒への注意喚起をしていきたい。
- ・委員からは、中学生やその保護者、地域の方々に、本校の特色や魅力をどう発信すればいいのかについて具体的な意見が示された。例年実施している高校説明会やインターンシップなどに加え、メディアを活用した実効性のある取り組みを進めるようにする。